

2019年9月2日

調査レポート

2019年4~6月期のGDP(2次速報)予測

調査部 主席研究員 小林真一郎

9月9日に内閣府から公表される2019年4~6月期の実質GDP成長率(2次速報値)は、前期比+0.3%(年率換算+1.2%)と1次速報値から下方修正される見込みであるが、修正は小幅であり、今回の結果によって景気に対する評価が変わることはないであろう。

個別の需要項目では、本日発表された4~6月期の法人企業統計の内容を受けて、設備投資の金額はやや下方修正され、伸び率は前期比+0.6%となろうが、増加基調が続いていることに変わりはない。一方、公共投資は上方修正される見込みである。

名目GDP成長率も前期比+0.3%に小幅に下方修正される見込みであるが(年率換算値も+1.2%に下方修正)、GDPデフレーターは前年同期比+0.4%のまま据え置かれるであろう。

	2018年				2019年		前期比 (%)
	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	
実質GDP	− 0.1	0.4	− 0.5	0.4	0.7	0.3	0.4
同 (年率)	− 0.3	1.6	− 1.9	1.6	2.8	1.2	1.8
同 (前年同期比)	1.3	1.5	0.1	0.3	1.0	0.9	1.2
内需寄与度 (*)	− 0.2	0.4	− 0.3	0.8	0.3	0.6	0.7
個人消費	− 0.1	0.4	− 0.1	0.4	0.1	0.6	0.6
住宅投資	− 2.5	− 1.9	0.8	1.3	0.6	0.4	0.2
設備投資	1.0	2.5	− 2.6	2.7	0.4	0.6	1.5
民間在庫 (*)	− 0.2	− 0.0	0.2	0.1	0.1	− 0.1	− 0.1
政府最終消費	0.3	0.1	0.2	0.7	− 0.1	0.9	0.9
公共投資	− 1.0	− 1.2	− 1.8	− 1.3	1.4	1.8	1.0
外需寄与度 (*)	0.1	0.0	− 0.2	− 0.4	0.4	− 0.3	− 0.3
輸出	1.0	0.8	− 2.1	1.2	− 2.0	− 0.1	− 0.1
輸入	0.6	0.8	− 1.2	3.6	− 4.3	1.6	1.6
名目GDP	− 0.1	0.2	− 0.4	0.4	1.0	0.3	0.4
同 (年率)	− 0.6	0.6	− 1.7	1.7	4.2	1.2	1.7
同 (前年同期比)	1.8	1.4	− 0.3	− 0.0	1.1	1.3	1.6
GDPデフレーター (前年同期比)	0.5	− 0.1	− 0.4	− 0.3	0.1	0.4	0.4

(注)内需寄与度、民間在庫、外需寄与度は実質GDPに対する寄与度

(出所)内閣府「四半期別GDP速報」

主な需要項目別の動向（実質ベース）は以下の通りである。

- ・個人消費に大きな修正はない見込みだが、住宅投資については、その後発表された統計を勘案すると、1次速報値の前期比+0.2%から同+0.4%にやや上方修正されると考えられる。
- ・民間企業設備投資は、需要サイドの統計である2019年4~6月期の法人企業統計において、季節調整済みの設備投資が、ソフトウェアを除くベースで前期比-1.6%と減少しており（含むベースでは同+1.5%）、1次速報値の前期比+1.5%から同+0.6%に下方修正される見込みである。
- ・在庫投資は、4~6月期の法人企業統計の結果を踏まえると小幅に下方修正される可能性があるが、実質GDPに対する前期比寄与度では-0.1%のまま修正されないであろう。
- ・公共投資は、6月の建設総合統計が反映された結果、1次速報値の前期比+1.0%に対して同+1.8%に上方修正されると予想される。
- ・輸出及び輸入については1次速報値からほとんど変更はないとみられ、実質GDPに対する前期比寄与度も1次速報値の-0.3%から修正されないであろう。

ー ご利用に際して ー

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。